

日韓のメディアや市民による情報発信の違いを話す韓国の大學生(右から4人)=京都市中京区・京都三条ラジオカフェ



京都市中京区のコミュニティ放送局「京都三条ラジオカフェ」で4日、来日中の韓国の大学生が日韓両国のメディア比較をテーマにした番組を収録し、市民による情報発信の基本を学んだ。

韓国で「ミニニティ放送局」「イルサンFM」の開設を目指すソン・サキヨクさん(25)ら聖公会大(ソウル市)の男女学生3人で、日本の取り組みを学ぼうと来日した。8日までにラジオカフェのほか兵庫県内の2放送局を回る。

日韓メディアを比較

来日学生らラジオ収録

中京の放送局

この日は通訳として韓国人留学生の立命館大2年ハン・ジヒさん(21)、右京区も参加した。4人は日韓メディアについての印象を交えながら、「韓国のメディアは政権の声をそのまま反映させている」「コミュニティ放送は11日午後1時15分から、同ラジオ(FM79.7MHz)で30分間放送される。

二ティーラジオのように市民が意見を広く伝えられるようないふたつと感じた」などと語った。

市民版



真綿ふとん
軽くて温かく吸湿性のよい
20%シルクプリント値下げ
かさが少なく収納が楽です
背負い真綿丹前真綿袋真綿
是非一度ご覧下さい※通常価格より